



桜谷小学校だより 令和2年11月30日

桜通信

ホームページを更新中!

「<https://www.rmc.ne.jp/~sakuraok/>」または「桜谷小学校」で検索ください。
QRコードでも読み取れます



「ノーメディアデー」へのご協力をありがとうございました

◇11/4 TV、ゲームが出来ない事にイライラし、途中で大ばあちゃんの所でTVを見ていました。何のための約束かな? ◇11/11 自分たちでノーメディアである事を理解でき、行動できていました。◇11/18 やりたい事を見つけ、取り組んでいました。◇11/25 ノーメディアを自覚し、自分達で考えて動けていました。

PTAの呼びかけで11月の毎週水曜日に「ノーメディアデー」を実施することができました。この感想はある保護者が書いてくださった4回分の記録です。このように、大勢の子どもが「テレビはつけっぱなし、時間があったらゲーム」という生活が当たり前になっていて初めは時間を持て余していたようですが、毎週続けるうちにメディア以外のことをして過ごす心地よさを感じ始めることができたようです。大変うれしく思いました。ご家族の皆さんにもずいぶんご協力いただいたのですね。ありがとうございました。

世の中は情報にあふれています。将来自分の力で情報を取捨選択し使用時間や方法をコントロールできるように、大人と一緒に使い方を考えたりルールを守ったり、さらにメディア以外の楽しみを体験したりする取組を重ねることが必要だと思います。今後も家庭と連携し取組を進められるようご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症を通して学ぶ人権学習



再び全国的な感染拡大が起っています。いつ誰が感染してもおかしくない状況の中、不安や恐怖心が、感染者に対する差別や偏見といった間違った形で現れてしまうことが心配されます。そこで、全学年で差別や偏見について考える人権学習をおこなっているところです。4年生では、「Aさんが風邪をこじらせ2週間休んだあと登校すると、Bさん、Cさんが『コロナやったんと違う? うつるかもしれないから、気をつけよう』とうわさ話をしていた」という教材資料を読んで学習しました。子どもの感想を紹介します。

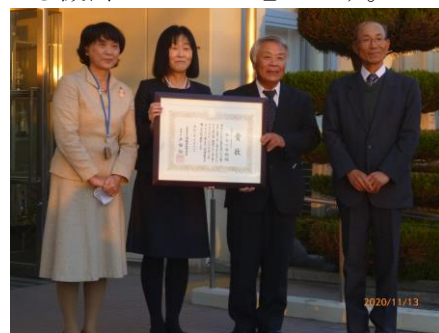
Aさんに、「だいじょうぶ? 熱出してつらかったでしょ。BさんとCさんの話はわすれていっしょに遊ぼう。」と言ってあげたい。

「自分がそんなふうに言われたらいやな気持ちになるやろ。そんなことは、言わない方がいい。」と、BさんとCさんに言ってあげたい。

学習を通して、皆が安心して学校生活を送れるように、一人ひとりが考える機会にしたいと思います。

桜谷小学校が博報賞を受賞しました!

「『好きです。桜谷』と自信をもって言える子どもを育てるために—HOTけん桜谷隊とともに—」が博報堂教育財団主催の「第51回博報賞」を受賞しました。HOTけん桜谷隊のご支援で、①自然体験や地域の方とのふれ合い等、感性の豊かな子ども時代にこそ経験させたい活動を教育課程にふんだんに位置づけていること、②活動が、視野の広がりや子どもが地域に誇りをもつ気持ちにつながっていること、③学校に支援してくださる方の輪が広がっていること等を評価していただきました。全国で9つの団体が選ばれました。



地域の方には日常的に惜しみない支援をいただき、昨年度も、栽培活動やもちつき、ミシン指導、「地域の名人さんに弟子入りしよう」「ロボット教室」など、延べ400名を超える方にお世話になりました。地域の方の「匠の技」は子どもの憧れであり、地域の方の子どもを見守る優しい眼差しは子どもの安心につながっています。改めて地域の皆様のご支援に感謝するとともに、今後も学校が地域の絆センターになれるように、地域と学校とがともに高め合う関係を目指したいと考えています。

学校生活のひとコマより

感染予防に配慮しながら、校外から講師を招いたり生活科や家庭科の実習をしたりしています。学習態度は大変意欲的で前向きなのですが、「固結びをしましょう」と言われ「固結びってどうするの?」と困っている子や、ぎこちない様子で皿洗いをする子、包丁の使い方に慣れていない子など、生活経験が少ない子が増えていると感じています。ノーメディアデーの取組は一旦終了しますが、ときにはメディアから離れて、親子で一緒に料理やもの作りをされてはいかがでしょうか。

(文責: 校長 北崎 あゆみ)